

令和7年度

第66回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（青森大会）

第5回北海道東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会（青森大会）

第62回青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会研究大会

【Web開催】 二次案内

教育、医療、福祉の他、様々な専門分野の皆様、保護者の皆様とともに、特別支援教育時代における病弱教育を切り開く全国大会を下記の要領により開催します。

ここに全国から多数の方々にご参加いただけますようにご案内申し上げます。

全国病弱虚弱教育研究連盟 理事長 栗木 理伸

（茨城県立友部東特別支援学校長）

第66回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会

第5回北海道東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会

第62回青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会研究大会

実行委員長 下川原 慶子

（青森県立浪岡養護学校長）

- 1 目的 病弱虚弱教育関係者をはじめ学校教育に携わる者が、日ごろの教育実践やその中で抱えている様々な課題について研究発表・討議し、病弱虚弱教育の深化と充実を図り、加えて今後の特別支援教育における病弱の子どもたちの教育のあり方を探る。
- 2 主題 児童生徒個々のニーズに応じた生きる力を育む病弱教育の在り方  
～ すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実 ～
- 3 主催 全国病弱虚弱教育研究連盟
- 4 共催 北海道東北地区病弱虚弱教育研究連盟 青森県特別支援教育研究会病弱虚弱教育部会
- 5 主管校 青森県立浪岡養護学校
- 6 協力校 青森県立青森若葉養護学校
- 7 後援 文部科学省 こども家庭庁 青森県教育委員会 青森市教育委員会  
(予定) 全国特別支援学校病弱教育校長会 青森県特別支援学校長会  
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 公益財団法人日本教育公務員弘済会青森支部
- 8 期日 令和7年8月7日（木）9：00～8月29日（金）17：00
- 9 参加者 全国病弱虚弱教育研究連盟の加盟校及び会員 等
- 10 参加料 1校につき5,000円  
※やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、令和7年7月14日（月）16：00までに  
大会事務局へご連絡ください。
- 11 開催形式 Web上での開催  
・Web上で、動画やPDF等の電子文書を参加登録者が閲覧する形式で開催します。

- ・期間中はいつでも閲覧可能とします。
- ・公開される動画の保存はできません。各データの保存・印刷の可否については制限を設けます。

全体会 (1) 全病連理事長挨拶 (2) 主管校校長挨拶	Web 上にて電子文書の配信
記念講演 (50分)	Web 上にて動画・電子文書の配信
分科会 (1分科会につき60分) (1) 研究発表 (1校20分×2校) (2) 指導助言者の講評 (20分)	
特別講演 (50分)	
特別企画 (50分)	

## 12 記念講演

演題「子どもの“生きる力”を育む ～代弁のススメ～」

講師：新百合ヶ丘総合病院・発達神経学センター長 高橋 孝雄 氏

【プロフィール】

- ・1957年生まれ。1982年慶應義塾大学医学部卒。1988年から米国マサチューセッツ総合病院小児神経科に勤務、ハーバード大学医学部の神経学講師も務める。1994年に帰国、慶應義塾大学医学部小児科主任教授、慶應義塾大学副病院長、日本小児科学会会長、日本小児神経学会理事長を歴任。
- ・現在、新百合ヶ丘総合病院名誉院長・発達神経学センター長、慶應義塾大学名誉教授。
- ・著書に『小児科医のぼくが伝えたい 最高の子育て』『子どものチカラを信じましょう 小児科医のぼくが伝えたい 子育ての悩み解決法』(共にマガジンハウス) などがある。



## 13 分科会

分科会名	事例発表校	指導助言者
(1) 教科・領域等の指導	大阪府立光陽支援学校	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育推進センター 総括研究員 土屋 忠之 氏
	岡山県立早島支援学校	
(2) 自立活動の指導	岐阜県立長良特別支援学校	弘前大学教育学部 准教授 天海 丈久 氏
	鳥取県立鳥取養護学校	
(3) 進路指導・キャリア教育	秋田県立秋田きらり支援学校	弘前大学大学院 教育学研究科教職実践専攻 教授 菊地 一文 氏
	東京都立小平特別支援学校 武蔵分教室	
(4) センターの役割	福島県立須賀川支援学校	青森県総合学校教育センター特別支援教育課 課長 船水 直樹 氏
	奈良県立明日香養護学校	
(5) PTA	岩手県立釜石祥雲支援学校	全国特別支援学校病弱教育校長会 元会長 相川 利江子 氏
	石川県立医王特別支援学校	
(6) 心身症・精神疾患のある 子どもの指導	山形県立山形養護学校	上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 ハ島 猛 氏
	宮城県立赤江まつばら支援学校	
(7) ICT の活用	宮城県立拓桃支援学校	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 准教授 太田 容次 氏
	長崎県立桜が丘特別支援学校	
(8) ベッドサイド教育・病院 との連携	市立札幌山の手支援学校	昭和医科大学 保健医療学部 教授 副島 賢和 氏
	岩手県立盛岡となん支援学校	
(9) 高校生の支援と学習指導	青森県立青森若葉養護学校	関西学院大学 教育学部 教授 関西学院子どもセンター長 丹羽 登 氏
	栃木県立岡本特別支援学校 おおるり分教室	

14 特別講演 演題「病弱教育のさらなる充実に向けて」

講師：文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世 氏

15 特別企画

演題「障がいのある方の表現とその可能性 ～アウトプット展の取り組みを通して～」

講師 アウトプット展実行委員長 蒔苗 正樹 氏

【プロフィール】

- ・青森市内の中学校、特別支援学校に勤務し、美術教育に関わる。2022年退職。
- ・障害のある方たちのアート制作を支援する活動を続けている。
  - 2010年「ぶるるん 日々を自分を刻むこと展」企画。
  - 2015年、2018年、2021年、2024年「アウトプット展」企画
  - 2022年、2023年、2024年「どこでもアトリエ」企画
  - 2024年「ココロでみる景色」（青森県障がい者芸術文化活動普及支援事業）企画。
- ・2023年ワークショップ「Let's シシおどり」企画。その他ワークショップ多数企画。
- ・青森市内で個展を開催し、作品発表を続けている。また、県内各地でインスタレーション作品も発表している他、舞台美術の制作も行っている。



16 大会参加の流れ

(1) 大会HPについて

- ・大会HPのURLを令和7年4月21日（月）に公開します。
- ・下記URLからアクセスしてください。  
<https://www.zenbyoren-aomori.com/>
- ・大会案内サイトにて大会の概要等の情報をお伝えします。

(2) 参加申込について

- ・大会申込期間 令和7年5月8日（木）～ 6月20日（金）
- ・申込方法 大会HPの案内に従ってください。
- ・参加費 1校につき5,000円です（学校単位での申込みになります）。  
※分校や分教室がある学校も本校1校文の申込みで参加できます（IDが共有できます）。

(3) 大会当日まで

大会参加費の入金を確認後、申込み時に入力したメールアドレスにログインIDとパスワードが届きます。  
開催期日が近づきましたら確認してください（7月下旬を予定）。

(4) 大会当日

- ・大会期間は【8月7日（木）9:00～8月29日（金）17:00】です。
- ・参加者各自が大会HPから大会ページのログイン画面に進み、IDとパスワードを入力してください。
- ・ログイン後、講演、分科会の動画や資料及び総会議案を閲覧できます。
- ・開催期間中は何名でも何度でも閲覧できます。

17 問い合わせ先

第66回全病連青森大会主管校事務局  
青森県立浪岡養護学校内 事務局担当 吉田 昌代  
TEL 0172-62-6000 FAX 0172-62-1506  
E-mail [r.namiyou.kensyu@gmail.com](mailto:r.namiyou.kensyu@gmail.com)